

連珠っておもしろい

九段 河村典彦

●第45回●

ドイツ生活その②

ドイツに来て2ヶ月半、ようやく生活も落ち着いてきた。まず、ホテル住まいから新居に変わった。80㎡以上ある部屋に一人住まいなので妙に寂しい。こういう時は早くインターネットにつなげて情報を取りたいのだが、テレコムがお役所仕事で全然つながらない。結局、1か月かかって10月からようやくつながった。なお、この話はまだ続きがあつて、初めて来た請求書を見て愕然。向こうの事情でつながらなかったくせにちやんと9月分の請求が日割りでされていた。文句を言ったらじゃあその分翌月に返金します、だって。なんじゃそりゃ！と言いたくなるが、それがドイツなんだとぐつと我慢。でも絶対

ベルリン（壁の一部）



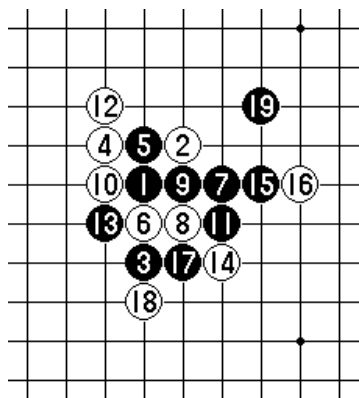
プロバイダー変えてやる！というところで、A級リーグは市内中心部まで出てネットカフェで見ることとなった。当然ながらネットカフェがなかなか見つからず、1時間もさまよい歩いた。時差の関係で夕方以降しか見られなかったが、3日連続見ることができた。出張でベルリン、ハンブルグ、イタリア（ミラノ）にこれまで行ったので、その感想を。ベルリンは首都だけあつて、文化的にも中

イタリア（ミラノ）

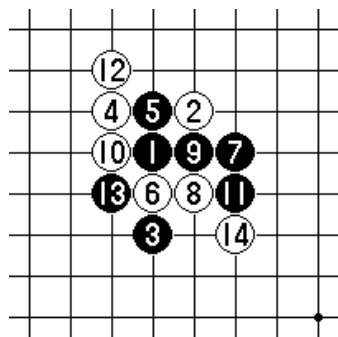


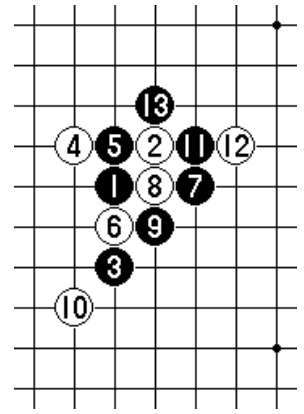
心だ。ちよつとしか見られなかったが、博物館など多いので、落ち着いて見に行きたいと思つている。ハンブルグは水の街。どことなく北欧の匂いがする。イタリアは食事がうまい！女性も美人が多い！これからもいろんな街に行けることを楽しみにしている。さて、久しぶりに連珠の局面的話題を。明星三題は題数指定打ちになつてからの懸案事項であるが、三題では白4は一間飛びの方が強い。黒5と割り込んだ形で、白14まで従来黒が勝てないと言われていたが、これは中村九段の研究で、黒

珠王戦の時に教えてもらったのだが、私は直感でこの白8は負けと思ひ変化した。

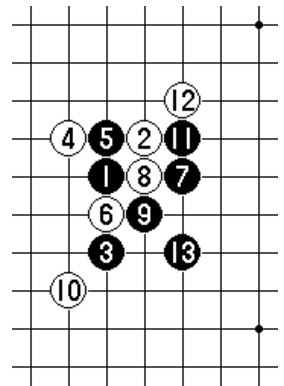
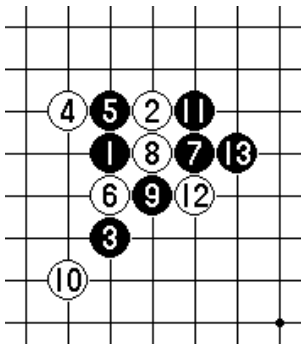


15から黒勝ちということがわかつた。左図がその要旨だが、黒19まで構えて白に防ぎがない。詳しい研究は皆様にお任せしよう。

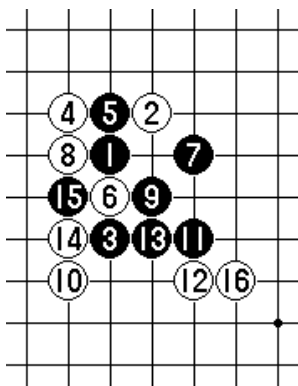




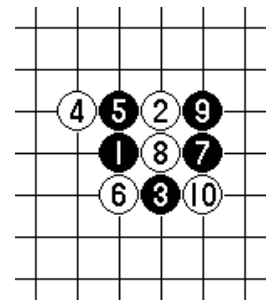
黒は長尾君だったのだが、黒9から11と押さえ、白12の防ぎにも黒13と組まれて完敗してしまった。白12が悪かったのかと思って調べてみると、どうも他の防ぎも思わしくない。左図は白12の最強と思うが、黒13と休んで必勝というのが中村氏の研究である。これで上下に勝ちを睨むのがわかりやすい。



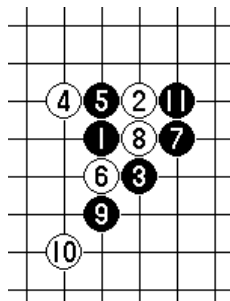
また、白12には当然黒13と組んで良い。そこで、今では白8では左図のようい外から押さえる手が変わっている。(図はチーム戦の李・中村戦、白勝ち)これはこれで研究課題となっているが、思わぬ副産物も生んでいる。



実はこの形、浦月からも発生する。浦月の四題目であるが、従来は黒7と組んだ時、白8が強くはつきり

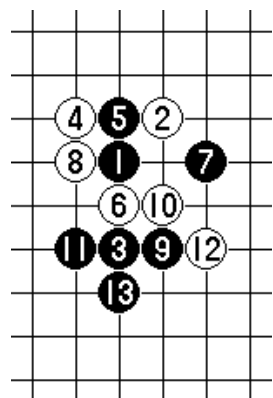


しなかった。しかし、黒9で斜め下に引けば、あらゆる思議、明星と同じ形になっている。

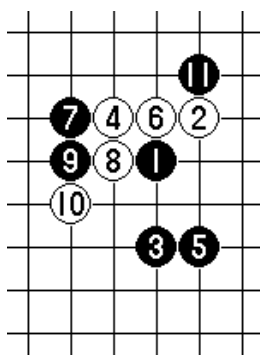


つまり、この形は黒勝ちなら、浦月の黒5も黒勝ちになるということである。(もつとも浦月は白8でまだ強防があるが)

最近掲示板連珠を再び始めたのだが、明星三題を指定して簡単に負けてしまった。その局面は、白8と外から押さえる手に対して、黒9と押さえられ、良く打



たれている白10を打たれずかさず黒13まで組まれてしまった。ここで防ぎ間違えて簡単に負けてしまったのだが、なかなか止めるのが難しいようだ。何気ない序盤でも思わぬ落とし穴がある。ついでに言うと、明星四題も研究されていて、



こんな黒5、9の手も打たれているらしい。今までの常識が通用しなくなっている。連珠の奥深さにまだまだハマっているようだ。